

ひとりで悩まず相談してください!



相談機関	連絡先	相談時間
男女共同参画センター	☎ 03-5479-4104	(事前予約制) 第1・3・4・5金曜日 午後1時～4時 第2金曜日 午後5時30分～8時30分
区民相談室	☎ 03-3777-2000	月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 (受付は午後4時30分まで)
子ども家庭支援課	☎ 03-3777-1111 (代表番号)	月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時
品川保健センター	☎ 03-3474-2903	月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時
大井保健センター	☎ 03-3772-2666	月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時
荏原保健センター	☎ 03-3788-7016	月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時
しながわ見守りホットライン	☎ 03-3777-6601	24時間 ※
東京ウィメンズプラザ	☎ 03-5467-2455	午前9時～午後9時(年末年始を除く)※
東京都女性相談センター	☎ 03-5261-3110	月曜日～金曜日 午前9時～午後8時
緊急の時(身の危険を感じたら)	警察 110番	24時間 ※
生活の安全に関する不安や悩みは	警察相談専用電話 #9110	最寄りの警察署の生活安全課でも相談できます

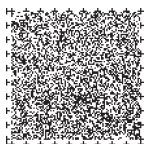
デートDV



こころと生き方の悩みについてカウンセリング相談もあります。

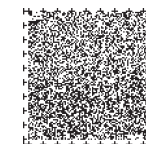
相談機関	連絡先	相談時間
男女共同参画センター	電話相談(専用電話) ☎ 03-5479-4105	第1・2・3木曜日 午前10時～午後4時 (午後3時30分までにおかけください。)
	面接相談(予約電話番号) ☎ 03-5479-4104	事前予約制 第4木曜日 午後1時～4時

知っていますか? 悩んでいませんか?



編集
発行

品川区総務部人権啓発課 品川区男女共同参画センター
品川区東大井5-18-1 品川区立総合区民会館(きゅりあん)3階
☎ 03-5479-4104 FAX 03-5479-4111



デートDVとは？

結婚していない恋人たち間で起こる暴力、特に若い世代で親密な関係にある相手からの暴力を「デートDV」といいます。「暴力」といっても、身体的な暴力だけでなく、精神的暴力、経済的暴力、性的暴力も含まれます。

これらの暴力は、一つの行為だけが行われるのではなく、いくつもの暴力が組み合わされたり、継続的に行われます。

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」は制定以降3回の改正をおこない、平成26年1月の改正では、生活の本拠を共にする交際相手も法律の適用対象となりましたが、適用対象でない交際相手も、殴れば傷害罪になります。DV加害者は婚姻前から暴力をふるっている場合が多く、デートDVの延長線上にDVがあるのです。

自分を大切にすることを、いやなことにははっきり「NO」と言いましょ。そして、自分のことを大切に思う気持ちと同じように、相手への思いやりの心、相手を大切にすることが大事です。暴力のない、自分も相手も大切にできる素敵な関係を築きましょう。

思いあたることありますか？

身体的暴力

なぐる、ける、髪をひっぱる、首をしめる、物を投げつける、突き飛ばす 等

精神的暴力

大声でどなる、暴言を吐く、無視する、実家や友人とつきあうのを制限する 等

経済的暴力

生活費をわたさない、働いて収入を得ようとするのを妨げる 等

性的暴力

性行為を強要する、避妊に協力しない、見たくないのにポルノを見せる 等

悩んでいるあなたへ

あなたの安全や将来のために相談を受けることは、あなたにとって大切な権利です。

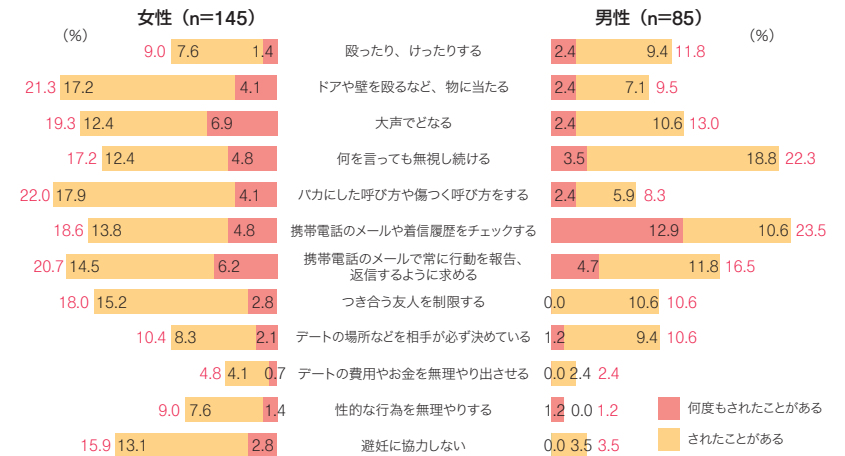
勇気を出して相談してください。相談員と一緒に考えましょう。あなたの知らなかった対応方法がきっと見つかるはずです。最後のページをご覧ください。

相談は無料で受け付けています。プライバシーは厳守します。ひとりで悩まないで相談してください。



デートDVをされた経験(性別) <交際経験がある人>

平成22年5月に実施した、区内の16歳から22歳の男女1,000人を対象とした「デートDVに関する意識調査」(有効回収率37.4%)では、交際経験がある人の1割程度がなぐったり、けったりされたことがあると答えています。



品川区「デートDVに関する意識調査」(2010年5月)より

あなたが相談を受けたら

- ・「あなたも悪かったのではないか」、「別れなさい」などとは言わないで、その人の話をありのままに受け入れて、その人の考え方や気持ちをじっくり聞いてください。
- ・「どうして暴力を止めなかったの、逃げなかったの」などとも言わないでください。離れることが難しいのがデートDVなのです。
- ・「あなたは悪くない」と何度も言ってください。
- ・その人が自分で考えて自分の行動を決めることができるまで支えてください。その人が自分で決めたことでない限りうまくいきません。
- ・相談窓口につながるように、最後のページの相談先を伝えてください。

